

“だんだんワークショップ”の開催

文部科学省 私立大学 戦略的研究基盤形成支援事業
 『集合住宅“団地”の再編（再生・更新）手法に関する技術開発研究』

AUGUST
 2013
 VOL. 118



男山団地（賃貸）住民向けワークショップの様子

■はじめに

本リーフレットタイトルの「だんだんワークショップの開催」の“だんだん”とは、「団地について談話する」ことを略して、また私たちが団地再編に向けた活動を展開していく上で、団地住民の方々に親しみを持っていただきたいという思いから名付けたものである。

■開催目的

本ワークショップ（以下WS）では、まず、本プロジェクトでの研究の趣旨と位置づけ、男山団地をはじめとする国内集合住宅団地が抱える問題点について説明している。その後、平成24年度に本プロジェクト提案部会メンバーや準研究員の大学院生らが作成した「都市再生機構男山団地における提案」（以下、男山団地再編提案）を、男山団地の住民、周辺地域の住民、市役所職員、商工業者の方などに説明し、男山団地再

編提案に対する意見収集・意見交換を行うというものである。今後、本WSで得られた意見を参考にしつつ、男山団地再編提案の向上を図ることを目的としている。

■開催内容

本WSは、これまでに3回（内1回は市役所職員向けで、だんだんカフェ形式で開催した）実施している。2013年2月21日（木）18時から、市内商工会のメンバーを対象に、4月21日（日）14時から男山団地賃貸住宅の居住者を対象に各回2

時間開催した。事前の広報としては、商工業者向けWSについては、八幡市を通じて商工会に連絡し、商工会メンバーに案内状を配布して周知し



ワークショップの趣旨説明



事前に配布した広報用チラシ



団地再編提案の説明

た。また、男山団地（賃貸）住民向けWSについては、事前に団地内全自治会長と打合せ後、各住棟掲示板にチラシを掲示する形で周知した。

当日のプログラムについては、まず、当プロジェクトで検討した男山団地の団地再編提案（リーフレットVOL.097）を参加者に説明し、自由に意見を出してもらう形式にした。また、提案への意見だけでなく、住み手として課題と感じる点について意見交換を行った。なお、男山団地住民（賃貸）に関しては、事前の打合せで希望があったため、H24度を実施したアンケート調査（リーフレットVOL.109）の結果についても報告を行った。

■ WS 参加者からの意見

次に、4月21日（日）に開催した男山団地住民（賃貸）向けWSで出された、住民からの意見を、以下の通り紹介する。

1) 住民からの団地再編への提案

- ・エレベーターの設置は必要。
- ・空き駐車場に、子育てや介護の施設を導入することはよいと思う。
- ・行政の課題として、実現に向けて取り組んでほしい。
- ・団地内に駐車スペースがなく、サービスの車も入れない状態を改善してほしい。
- ・高齢者には2階の住居でもしんどいところがある。まずは高齢者を対象に改善してほしい。
- ・商業施設など、地域の経済が活性化する施設の導入を図ってほしい。住民の利便性の向上を考えたものにしてほしい。
- ・住民同士がコミュニケーションをとれるような場所がほしい。

2) 提案に対する意見

- ・緑道を資源と捉える案は良い。
- ・戸建住宅を導入することについては疑問がある。周辺住宅との間では、ゴミの持ち込みなどの問題が

ある。団地（賃貸）住民と分譲住宅、戸建住宅の住民とでは価値観が違うのでうまくいくとは思えない。

3) プロジェクトに対する期待

- ・住民の生の声を聴くことは重要である。住民の生の声を、URや行政レベルに上げてほしい。
- ・提案の実現に向けて、政策的ステップを踏んで、進めてほしい。

■ おわりに

本WSでは、男山団地にお住まいの方に、本プロジェクトで検討した団地再編提案を示し、意見をいただくことで、より具体的な団地の課題を明らかにすることができた。また、「だんだんカフェ」（リーフレットVOL.117）と同様に、このような機会を設けることは、団地住民の方にとっても団地の将来について考える契機となることを期待する。

だんだんワークショップは、団地再編プロジェクトの学内推進研究者、特任研究員、PD、協力メンバー、準研究員（関西大学大学院生）で実施している。



参加者との意見交換の様子



アンケート調査の結果報告



学生による提案説明

関連リーフレット：117 125

『“だんだんワークショップ”の開催』

執筆：片岡 由香（関西大学 先端科学技術推進機構）

発行：2013年8月

本リーフレットは、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「集合住宅“団地”の再編（再生・更新）手法に関する技術開発研究（平成23年度～平成27年度）」によって作成された。

関西大学
先端科学技術推進機構 地域再生センター
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
先端科学技術推進機 4F 団地再編プロジェクト室
Tel : 06-6368-1111 (内線 : 6720)
URL : <http://ksdp.jimdo.com/>